

# 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組

かそく  
2016 家族でかくにん!

# わが家のぼうさい コンテスト



同コンテストは、関係市町、県、国でつくる『九頭竜川・北川減災対策協議会』の「逃げ遅れをなくす的確な避難行動のための主な取組」として、**改めて水害に対しての減災・防災への意識を喚起!**

## 第3回 わが家のぼうさいコンテストを開催!

福井県内の小学生を対象として、地域の危険な場所や避難場所を盛り込んだ「防災マップ」の作成に取り組んでもらいました。

なお昨年に引き続き、参加者数の増加に向け主催者である「ふくいの水防災を考える会」等の連携の他、**今回は『九頭竜川・北川減災対策協議会』の取組みとしても進めた結果、新たに6校からの応募により295点もの応募（昨年の1.7倍）があり、本人をはじめ協力したご家族や地域の方々の防災意識を高めることに寄与しました。**

(一昨年度95点、昨年度178点)

- 応募対象：福井県内の小学生
- 募集期間：平成28年7月1日(金)～平成28年9月8日(木)
- 審査会：平成28年9月16日(金)
- 表彰式：平成28年10月10日(月)
- 主催：ふくいの水防災を考える会  
NHK福井放送局  
福井新聞社
- 後援：福井県教育委員会



表彰式の様子

## 最優秀作品



## 受賞者 (40名)

【応募総数295点】

- 最優秀賞 東郷小5年 浅田 美緒
- 優秀賞 豊小5年 林田 ひなた
- 同上 春江小5年 西畑 勝人
- 特別賞2名・入選12名・奨励賞23名

## 防災教室、実験コーナーでの体験学習、防災パネル展、起震車体験、受賞作品のパネル展示

表彰式にあわせて、審査委員長（辻子先生）による防災教室や福井地方気象台による実験コーナーでの体験学習、福井市による防災パネル展や起震車体験、受賞作品のパネル展示などを行いました。



防災講座  
(辻子審査委員長)



実験コーナー  
(福井地方気象台)



受賞作品パネル展

【問い合わせ先】  
国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所 調査第一課  
〒918-8015 福井市花堂南2-14-7  
TEL 0776-35-2661







福井市東郷小学校 5年 浅田 美緒さん

受賞者コメント

「いま、避難しなければいけなくなったらどうする？」
私が住む町が災害におそわれたらどうするか、防災マップ作りの中で考えることにしました。防災についてインターネットで調べてみましたが、私には言葉や内容など、とても難しかったです。そこでみんなにわかりやすいものを作りたいと思いました。ハザードマップでは福井豪雨の時にどこが浸水したかを知ることができます。その範囲に色を付けると、遊んでいる場所や通学路の中で、どこが危険でどう逃げるべきかわかりました。次に、父と避難経路を歩いてみました。途中には足をふみはずしそうな場所があり、浸水した時は足元が見えずとても危険です。また、避難場所である公園には、避難場所のマークがある方が良いと思いました。防災マップには、避難場所や危険な場所の写真を貼り付けて、わかりやすくなるように工夫しました。私の町にもいつ災害が起こるか分かりません。防災マップ作りのおかげで、災害の時にどうするかなど、情報を知っていることの大切さがわかりました。これからも防災について家族で取り組んでいきたいです。」



2016 家族でかくにん!

わが家のぼうさい コンテスト 入賞作品紹介

ふくいの水防災を考える会、福井新聞社、NHK福井放送局は、福井県内の小学生が家族と一緒に自宅周辺の危険な場所などを調べ、災害時にとる行動を話し合い、画用紙にまとめる「家族でかくにん! わが家のぼうさいコンテスト」を行いました。今年で3回目となり、295点の応募作品から福井高専環境都市工学科の辻子裕二教授ら7人の審査委員が入賞作40点を選考しました。また、コンテストは、今年3月に国と福井県、県内6市町でつった「九頭竜川・北川減災対策協議会」で防災教育を拡充するためのソフト対策に位置付けられました。

審査委員長の講評

日常の生活の中で毎日のように見ても飽きないよう、恐怖感、圧迫感を与えない色使いやタッチが工夫された作品です。緻密な調査結果に基づいて分析がなされており、知っておきたい知識(知っておかなければならない知識)も適切に表現されています。何よりも楽しく調査をしている写真が印象的です。この作品を見ることで、ご家族以外の方も触発され、「わが家でも作ってみたいか」という気持ちになるのではないのでしょうか。



表彰式は10月10日、福井新聞社・風の森ホールで行われ、入賞者に賞状などが贈られました。辻子委員長は「妊婦の避難経路を提案するなど新しい観点の作品もあった。作って終わりではなく、家に掲示して更新してほしい」と講評しました。会場では防災教室も開催。災害時にとる行動をクイズ形式で学ぶ講演や竜巻発生などの実験、地震体験車の体験コーナーも設け、防災について楽しく学んでもらいました。



審査委員長 辻子 裕二氏
福井工業高等専門学校 環境都市工学科教授

- 審査委員: 中村 圭吾氏, 斎藤 重人氏, 内藤 宏人氏, 山西 弘行氏, 山本 道隆氏, 大門 博也氏







優秀賞

坂井市春江小学校 5年  
西畑 勝人さん



優秀賞

福井市豊小学校 5年  
林田 ひなたさん



審査委員長の講評

最優秀作品と同様、この作品もやさしい色使いが特徴的です。また、自宅の備蓄品を調べた上で、「ぜんぜんたりない」という戒めのメッセージを表現している点が印象的です。防災マップは作ることも大切ですが、状況に応じて更新していくことも不可欠です。自らの課題を明確にしておけば、継続的な防災活動につながります。この点で「ぜんぜんたりない」は家族の大きな決意表明ともいえます。ますますの自己研さんを期待します。

審査委員長の講評

「遊んでいるときに自然災害が起こったら」という、小学生ならではの視点からの分析がある作品です。大人だけでは気づかない具体的提案が目立ちます。少し愉快に「わが家にもあった非常持ち出し袋」が紹介されています。この作品作りを通じて家庭内で気づきが生じたことが伺えます。毎年確認するぞ、という意気込みも感じ取ることができます。大きな作品ですが、掲示方法なども工夫してもらとうと良いかと思います。



NHK福井放送局長賞

福井市豊小学校 5年  
橋本 愛花さん



審査委員長の講評

歴史を調査・分析し、被災経験のある家族にもインタビューした作品です。家族が被災したという事実がつかないこともありますが、経験に基づき堅実に対応していることが示されています。歴史や経験から学ぶことの大切さを訴えている作品ともいえます。年に1回備えるべきもののリストも示されています。今後も、継続的な防災活動が期待できる作品です。



福井新聞社長賞

福井市社北小学校 6年  
藤嶋 亜衣さん



審査委員長の講評

几帳面なタッチで描かれた、丁寧な作品です。作品にやさしさがにじみ出ています。地震などのハザードの違いに応じた対応(避難先)の違いも明記されています。何よりも「わが家の約束」が明確に示されています。それぞれが自助を達成し、家族ぐるみで対応する強い姿勢が伺えます。消防署の方とのインタビュー録も載せており、防災に対するデータ収集の堅実さが読み取れます。



23 作品

福井市 社西小学校 4年 田淵 快さん	小浜市 宮川小学校 6年 畠中 希実さん	小浜市 国富小学校 5年 藤内 菜摘さん	坂井市 春江小学校 5年 中西 葵さん	福井市 東郷小学校 5年 藤田 耕輔さん	福井市 社北小学校 6年 須方 海咲さん	福井市 東郷小学校 5年 佐々木 ゆらさん	福井市 豊小学校 4年 平木 里奈さん	福井市 社西小学校 4年 若林 奈央さん	小浜市 国富小学校 5年 垣東 昊汰さん	福井市 豊小学校 6年 竹原 寛騎さん	福井市 東郷小学校 4年 萩原 あずみさん
福井市 松本小学校 5年 皆川 愛稀さん	福井市 社北小学校 5年 京谷 一子さん	小浜市 国富小学校 5年 藤田 蒼生さん	福井市 東郷小学校 4年 高原 伶奈さん	小浜市 宮川小学校 6年 松尾 いろはさん	福井市 豊小学校 4年 山端 咲貴さん	福井市 社西小学校 6年 島津 真秀さん	福井市 社西小学校 6年 島津 真秀さん	福井市 東郷小学校 4年 藤田 優依さん	福井市 東郷小学校 4年 藤田 優依さん	坂井市 春江小学校 5年 新川 遥香さん	福井市 豊小学校 4年 山端 咲貴さん